

謝　　辞

謝　　辞

本研究の遂行にあたっては、宮崎大学農学部永田雅輝教授には主指導教員としての立場から、2001年宮崎大学に留学以降、修士課程から本年まで、本研究のテーマの選定、研究計画、実験方法など学位論文の全プロセスにおいて、公私にわたり終始指導を頂きました。心から謹んで感謝の意を表します。

また、副指導教員である、宮崎大学農学部御手洗正文教授、琉球大学農学部上野正実教授および本論文をご校閲していただきました鹿児島大学農学部守田和夫教授、佐賀大学農学部松尾隆明教授には貴重なご意見とご指導を賜りました。研究を進めるに際し、上海交通大学ロボット研究所の曹其新教授、宮崎大学農学部槐島芳徳准教授、宮崎大学農学部日吉健二助教には実験装置等の指導を頂きました。また、宮崎大学農学部中園健文准教授には他の専門領域でありながら有益なるご助言と激励をいただきました。これらの先生方に心より感謝の意を表します。

本実験の供試材料のイチゴは、宮崎市木花地区の持原善伸氏のご協力を、ハウス調査には福岡県筑後市中富清月氏、宮崎県農業試験場、宮崎県三股町JAのご協力をいただきました。また、プログラムの作成はB_Mount Productsの大山茂樹氏のご協力をいただきました。ここに記して深く感謝申し上げます。

データの収集、資料の整理では、本講座の小林太一さん（現 NEDO フェロー）、ジャスパー・タラダさん（現 フィリピン大学）、中辻寿文さん（修士課程）、上海交通大学の郭峰さん（博士課程）、冷春涛さん（博士課程）および同専攻生の皆様の熱心なご協力を頂きました。

本研究は主指導教員永田雅輝教授が研究代表となって、文部科学省科学研究費基盤研究(B)（課題番号15380175）並びに民間との共同研究として九州電力（株）の支援を得ました。このように、本論文を作り上げるまでは多くの皆様方のご指導がありました。ここに、関係者各位に感謝申し上げます。

最後に私事ではありますが、同大学およびその他の友人、そして最後まで見守ってくれた両親および姉、深い理解を示し支えてくれた妻-美智子、辛いときに癒してくれた長女-永美に心から感謝します。

2007年9月 崔 永杰